



令和5年度

実施状況報告書・児童の意識調査の結果について

滋賀県立びわ湖フローティングスクール

びわ湖フローティングスクールでは、よりよいフローティングスクール学習を目指し、すべての児童学習航海後に、先生方へのアンケート(実施状況報告書)、子どもたちへのアンケート(児童の意識調査)の実施を各校にお願いし、フローティングスクールへ御提出いただいています。

令和5年度の集計結果が資料1です。

これらの集計結果からもわかるように、先生方も子どもたちも、それぞれのアンケートに対して、どの質問においても80%近くを示すものが多く、概ね達成できていることがわかります。特に、質問8の「フローティングスクールの学習はよかったですか」に対しては、実施状況報告書では98.5%、児童の意識調査では93.2%という評価が得られ、満足のいく指導や学習ができた先生方、子どもたちが大変多かったことがうかがえます。

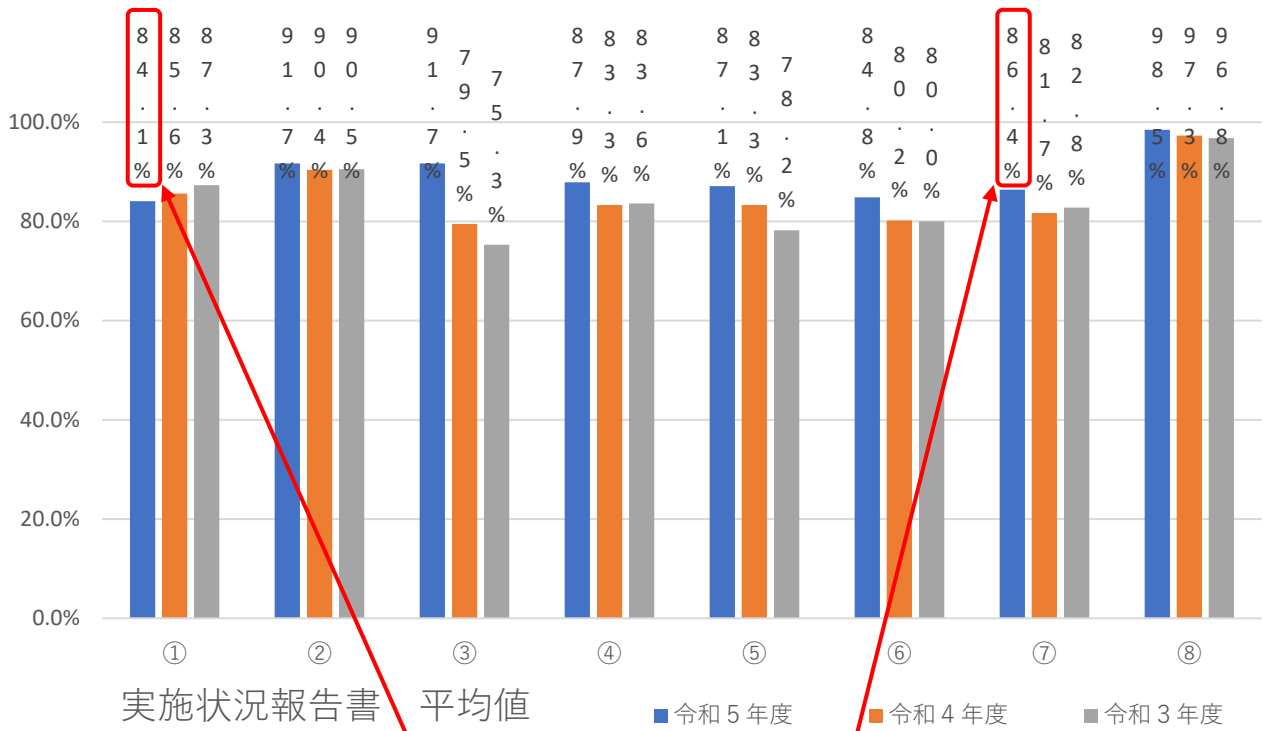
しかし、質問1と7の数値が他に対してやや低いこともわかります。

質 問	項 目
1. 乗船前の学習で、乗船中に調べたいことや確かめたいことを見つけることはできましたか。	乗船前の学校での学習について
7. 「フローティングスクールの学習を終えて、びわ湖学習のテーマについて自分の考えをもち、他の人に伝えることができましたか」	「自分の考えを他者に伝えられたか」

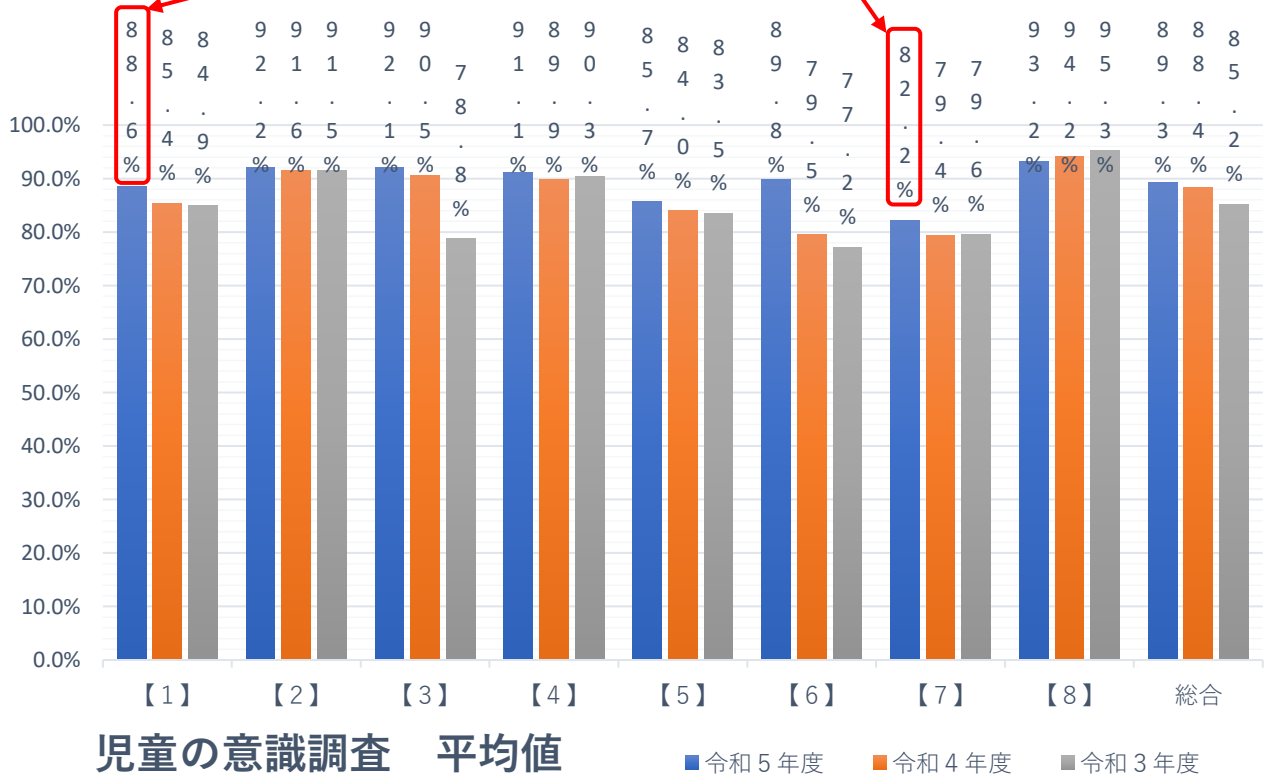
これらの項目は乗船前の学習や他者との関わりについての設問です。設問1については、4年ぶりの1泊2日児童学習航海となり、2日間の児童学習航海に向けての事前の学習準備を進めることが難しかったということが考えられます。設問7については、1泊2日児童学習航海となり、昨年度と比較するとややポイントが上がっています。これは、「湖の子」の夕べや学習のまとめを対面でも実施することができるようになったり、感染症流行期には、ICT 機器等の活用により密を避けながら交流の機会を作ってきたりした成果であると考えます。今後も、本アンケート結果を先生方の御指導に生かしていただけるよう、びわ湖フローティングスクールは、事前・事後学習における学びの発信方法や船内生活および交流のもち方などについて、先生方に指導方法の例を示したり、先生方の相談に応じたりしていきたいと考えています。



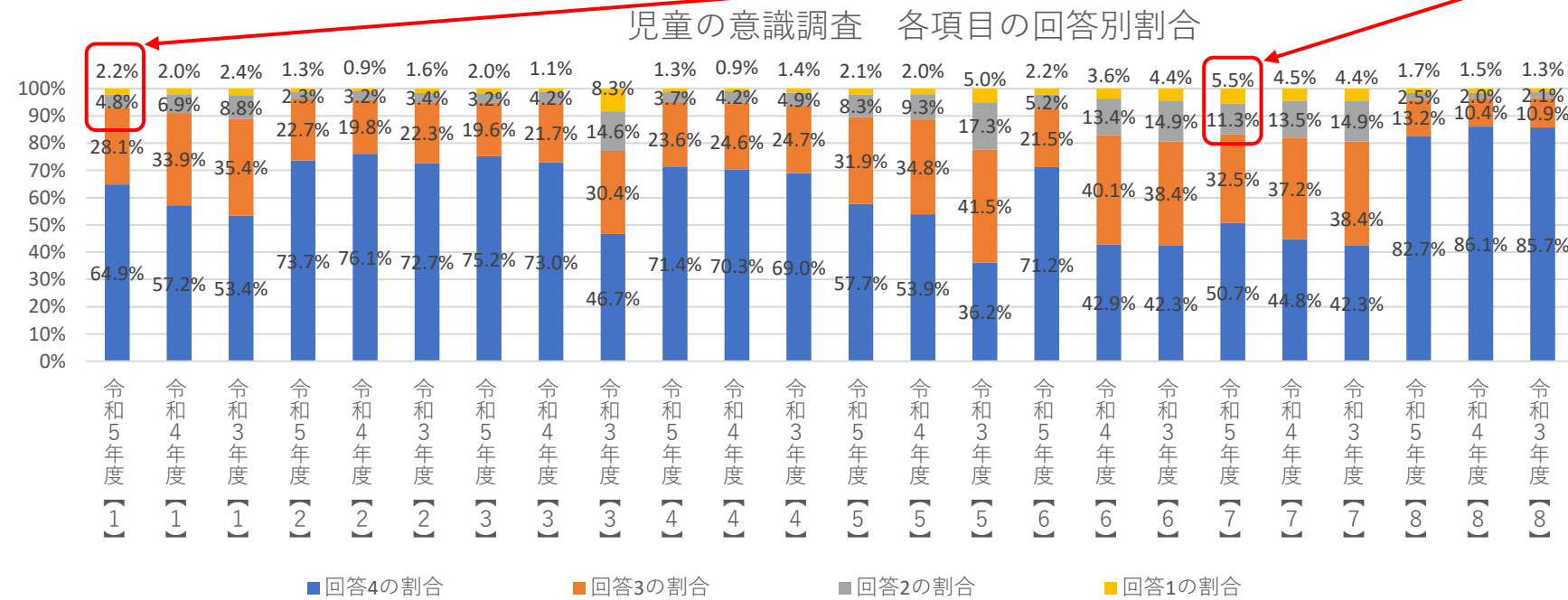
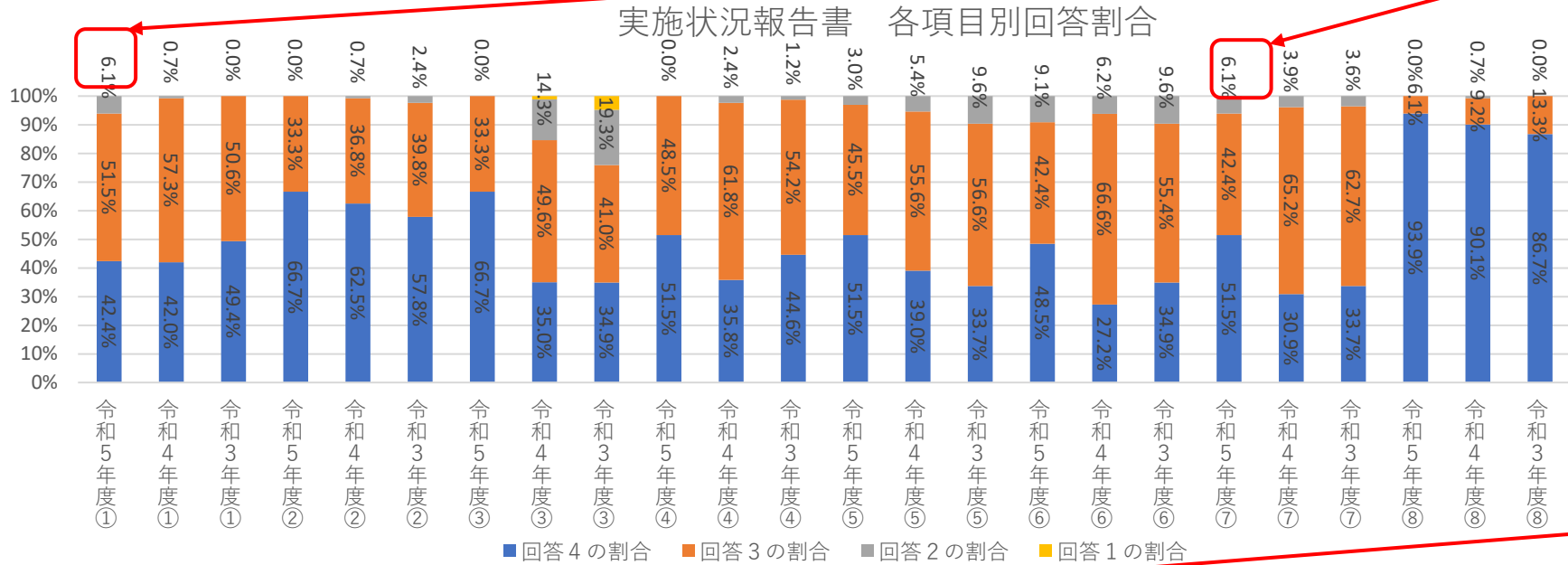
令和5年度 実施状況報告書・児童の意識調査集計結果(達成度)



他に比べるとやや低い



令和5年度 実施状況報告書・児童の意識調査集計結果(各項目別回答割合)



他に比べると否定的な回答が少し多い